

# 令和3年度 青少年ピースフォーラム 報告書

長崎市 / 公益財団法人 長崎平和推進協会



Nagasaki Peace forum 2021

## 1 概要

全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年の皆さんと長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで平和意識の高揚を図る目的で平成5年度から長崎市が実施しており、平成31年度から、公益財団法人 長崎平和推進協会が長崎市からの委託を受け実施しています。青少年ピースフォーラムの主な企画及び当日の進行は、長崎市の青少年ピースボランティアが担います。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各自治体とオンラインを繋いでの開催となりました。また、今年初めて、青少年ピースボランティアや長崎市長が参加する「千羽鶴」合唱動画を制作しました。閉会行事で公開後、当協会公式 Youtube で一般公開しています。

## 2 オンライン青少年ピースフォーラムについて

- ✓ 日時：令和3年8月8日（日・祝） 14：00～18：00  
令和3年8月9日（月・休） 13：30～15：30

- ✓ 当日プログラム

8月8日(日・祝)	内 容
14：00～15：20	(1) 開会行事 ア 開会宣言 イ 長崎市長挨拶 ウ 奥村アヤ子氏 被爆体験講話（被爆時年齢8歳） 爆心地に近い城山町（500m）で被爆
15：30～16：30	(2) 平和学習「長崎原爆の実相について学ぶ①」 ア 原爆資料館内の展示物、被爆遺構等ガイド（動画やスライド） イ 被爆遺構などを現地から生中継ガイド ① 旧城山国民学校校舎 ② 旧長崎医科大学門柱 ③ 山王神社 二の鳥居、被爆クスノキ
17：00～18：00	オンライン交流会《希望者のみ》 自治体と青少年ピースボランティアによる出し物、フリートーク

※雨天により、②③は  
収録映像を配信

8月9日(月・休)	内 容
午前	《長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典》 長崎市公式 YouTube で配信予定のため各自で視聴

13:30~13:50	(1) 平和学習「長崎原爆の実相について学ぶ②」 ・紙芝居で原爆の実相を伝える
13:50~15:20	意見交換 ・グループに分かれての意見交換
15:20~15:30	(2) 閉会行事 ・青少年ピースボランティア「千羽鶴」合唱 ・閉会宣言

✓ 参加人数：全国 19 自治体（長崎市含む）から 224 名

	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	計	職員	合計
自治体派遣の参加者	25	131	19	2	1	178	64	242
青少年ピースボランティア			28	16	2	46		46
合計	25	131	47	18	3	224	64	288

都道府県	自治体名	参加人数
北海道	釧路市	3
宮城県	気仙沼市	2
福島県	会津若松市	15
福島県	郡山市	26
千葉県	松戸市	10
千葉県	佐倉市	20
千葉県	鎌ヶ谷市	10
東京都	港区	9
東京都	武蔵野市	13
東京都	調布市	8
神奈川県	藤沢市	25
京都府	福知山市	5
京都府	宇治田原町	11
福岡県	北九州市	6
沖縄県	那覇市	5
沖縄県	宜野湾市	1
沖縄県	石垣市	2
沖縄県	北谷町	7
合計		178

## 8月8日（日・祝） 青少年ピースフォーラム1日目

司会：山田 聖華・安達 千紘（青少年ピースボランティア）



### 参加者の声

- ・言葉の一つ一つに重みがあって、原爆が落とされ多くの人が苦しみ、亡くなったことは76年前実際に起こった「事実」なのだと改めて感じた。
- ・表情を見ながらお話を聞くことで、奥村さんの感情や想いが、より一層伝わってきた。本や授業で学ぶ以上に深く考えることができたように感じる。
- ・ほんの数mの差で、助からなかった命があったこと、残された人の気持ちなど、思い出すのがつらい出来事を、伝えてくださったことに感謝している。
- ・最初はつらくて話したくなかったが、私が話さなければいけないと思い語り部を始めたとき、感動した。次世代に語り継ぐためにと、涙を流しながら辛い経験を話してくださる奥村さんのお話を、胸が締め付けられるような思いで聞いた。
- ・当たり前の生活が、一瞬にして壊されることを想像することは難しいが、私たちの今の生活が、とても幸せで、平和なことであると痛感した。
- ・「平和は歩いてきたわけではない。多くの人を犠牲にして作られたのだ。」という言葉に心を揺さぶられた。今の世界を作った方々の努力をしっかりと学びたいと思った。
- ・被爆者の方のお話を聞くことのできる最後の世代である私たちが伝えていかなければならないのだという使命感を持った。

## 長崎原爆の実相について学ぶ① LIVE 配信・オンラインガイドツアー



### LIVE 配信：

旧城山国民学校校舎

### オンラインガイドツアー：

平和祈念像、平和の泉  
原爆落下中心地碑、被爆当時の地層  
浦上天主堂、旧長崎医科大学門柱  
山王神社（二の鳥居、被爆クスノキ）

企画・進行：実相班

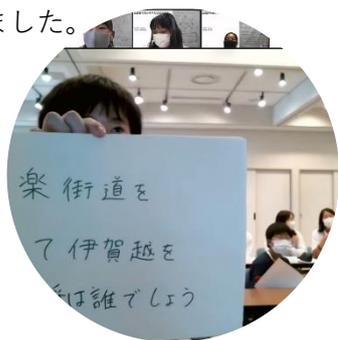
原爆被爆の概要、原爆資料館内の展示物について説明した後、被爆遺構の LIVE 配信と、オンラインガイドツアーを行いました。

## 参加者の声

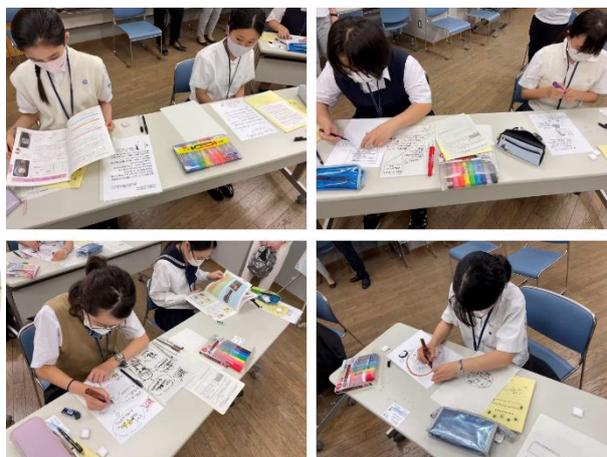
- ・ ボランティアの方々の工夫がたくさんあり、聞きやすく、分かりやすい説明だった。
- ・ 現地に行って見てみたいという気持ちがより一層強まった。
- ・ 今回多くの悲惨な跡を見て、「過去に本当に起こったことなんだ」と実感が湧いた。
- ・ 被爆遺構がたくさん残っており、今まで大切に保管されてきたことに驚いた。

## オンライン交流会

自治体からの出し物や、長崎クイズ、フリートークなどを通して楽しく交流を深めました。



企画・進行：交流会班



## 8月9日(月・休) 青少年ピースフォーラム2日目

司会：江崎 樹里・保家 廉太郎(青少年ピースボランティア)

### 長崎原爆の実相について学ぶ②

#### 紙芝居「城山国民学校の物語」文/絵 マルモトイツミ

企画・発表：表現班

爆心地から500メートルの場所にあった城山国民学校で教員をしていた三宅(旧姓:吉野)レイ子さんの被爆体験をもとに作成された紙芝居の読み聞かせを行いました。



### 参加者の声

- ・幅広い年齢の方にとって、わかりやすい文章と絵だった。  
紙芝居なので、表現が柔らかくなるものの、当時の状況をリアルに感じられた。
- ・登場人物になりきった気分だった。声がメインとなっており、聞きとりやすく読んでもらい、分かりやすかった。

### 意見交換「平和について考える」



企画・進行：青少年ピースボランティア全員

「全ての意見を受け入れること、発表者の話を真剣に聞くこと」という約束を確認してから、全国の参加者をグループに分け、意見交換を行いました。グループ内の自己紹介では、地元のおすすめスポットやグルメなどを紹介し、緊張をほぐしてから、次の3つのテーマに沿って意見交換を行い、2日間の学びを深めました。

## テーマ1 平和学習や被爆体験講話を通して感じたこと

- ・戦争は、大切な人を失い、心に大きな傷を残すものだと感じた。
- ・奥村さんが、今では考えられない苦労をしていたということから戦争の悲惨さが分かった。
- ・奥村さんの辛さを知り、戦争は絶対にいけないことだと思った。
- ・実際の体験談を聞き、その生々しさに恐怖を感じ、心が痛んだ。  
「戦争をしてはいけない」という言葉の重みを感じた。
- ・原子爆弾の恐ろしさ、悲惨さを詳しく聞いて核兵器はこの世から無くさないといけないと思った。
- ・被爆体験講話を聴く機会は貴重で、大切なことだと思った。
- ・被爆者がどんどん減っていて、原爆の本当の怖さを知る人が少なくなっているため、自分たちが伝えていかなければならないと思った。

## テーマ2 平和だな、幸せだなと感じること



- ・家族や友人と日常生活を送れること
- ・家族や友人と、食事を美味しく食べることができること
- ・帰る場所があり、安心してぐっすり眠れること
- ・金銭的、精神的な余裕があること



- ・情報を手に入れられること
- ・毎日学校に行き、楽しく勉強できること
- ・やりたいことをして自由過ごせること（友達と遊ぶ、野球、歌うなど）
- ・自分のしたい勉強をし、夢に向かって努力できること



- ・自分の意見を周りに伝えることができること
- ・お互いに安心して相手と言葉を交わせること
- ・自分の好きなことをしてそれを表現ができること



- ・全世界の人が認め合って仲良くなり、戦争などがなくなること
- ・全ての人々が心の底から笑えること
- ・オリンピック、パラリンピックを開催できること
- ・国際大会で新記録が出て、世界中で喜ぶこと

## テーマ3 平和のためにできること

各グループから出た意見は、「1.行動に関する意見」と「2.心の持ち方に関する意見」に分かれました。ここでは、各グループから提出された意見を分類し、整理したものを掲載しています。

### 1.平和のために行動すること

#### STEP1 学ぶ

自分で

- ・自分が住んでいる地域で取り組まれていることを知り、地域の文化を理解すること
- ・他国、自国の戦争や平和の歴史について、様々な角度から学ぶこと
- ・世界の現状に興味を持って学ぶこと
- ・他国の文化を勉強し、心を理解すること
- ・様々な観点から考え、自分の考えを持つこと

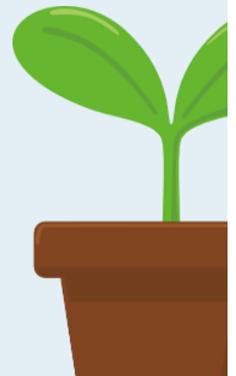
他の人と一緒に

- ・イベント等を通して人と交流し、視野や考えを広げること
- ・ディスカッションをして、他の人の意見を聞き、視野を広げること
- ・世界中の人と交流し、良いところを見つけたり、色んな人の考え方を聞いたりすること
- ・積極的に交流の機会を持ち、様々な視点や考えを身につけていくこと



#### STEP2 参加する

- ・自分が感じる課題に対し、ボランティア活動に取り組むこと  
(英語教育、花植え、ごみ拾い、海岸清掃)
- ・リサイクル活動に参加すること(服、コンタクトケース)
- ・エコキャップ活動や募金活動、ベルマーク運動に取り組むこと
- ・不用品の寄付をすること(使わなくなった道具を世界の人に贈る)
- ・SDGsの取り組みに協力すること



#### STEP3 発信する

- ・今回のフォーラムを通して学んだことを、伝えていくこと  
(「家族を大切に」という奥村さんのメッセージ、思いやりの気持ち等も含めて)
- ・平和でない部分(震災、戦争の犠牲、基地問題など)に目を向け改善していくこと
- ・SDGsの取り組み例(食品ロスを減らす方法など)を校内放送で紹介すること
- ・原爆や戦争の悲惨さ、世界の現状、自分の考えを発信すること
- ・一人一人が自分の考えを持つことが大切なため、伝えるだけでなく、受け手にも平和とは何かを考えてもらうこと



発信方法

- ・友達や地域の人に伝える
- ・SNSへの書き込み(インターネットの活用)
- ・イベントの広告
- ・戦争を題材にした舞台
- ・路上活動
- ・ポスター

## 2.平和につながる心を持つこと

### STEP1 心にゆとりを持つ

- ・心を健康にし、物事を前向きに捉えられるようになること
- ・友達や人とのつながりを大切にすること
- ・人を許せる広い心を持つこと

### STEP2 一人ひとりの考えを尊重する

- ・周りの人と助け合う、支え合うこと
- ・感謝の気持ちを忘れず、言葉や行動で伝えること
- ・相手を尊重し、相手の気持ちを考えて行動すること
- ・他人と互いに認め合い、理解しあうこと
- ・話すときは、相手の立場に立って考え、伝え方を工夫すること
- ・争いになった時は、冷静に原因を考え、話し合いで解決すること



今回フォーラムに参加した一人ひとりが、自分の考えたことを他の人に共有し、お互いの意見を発展させたことで、こんなに多くの素晴らしいアイデアが出ました。自分たちのグループで出た意見を思い出しながら見てみると、新しい気づきがあるかもしれません。この中には、今日から始められる身近なことも、たくさんあります。まずは、フォーラムで学んだ私たちが実践していき、平和の輪を広げていきましょう!!

青少年ピースボランティアより



## 2021 千羽鶴合唱プロジェクト



撮影協力：長崎市長 田上富久、青少年ピースボランティア

～平和の発信に携わる一員として、  
一人一人の想いをこの歌を通じて発信したい～  
コロナ禍、集まって歌うことが難しい中、  
リモート収録で「千羽鶴」を合唱しました。

今だからこそ、できることを。

動画はこちらから!!

♪「千羽鶴」

作詞：横山 鼎

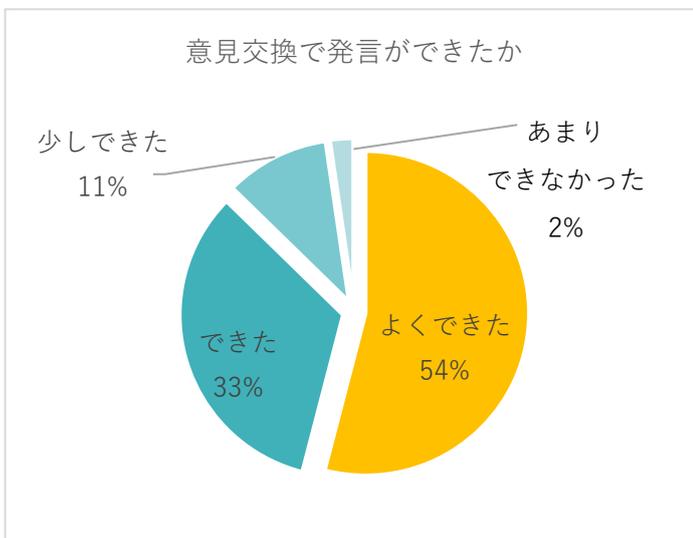
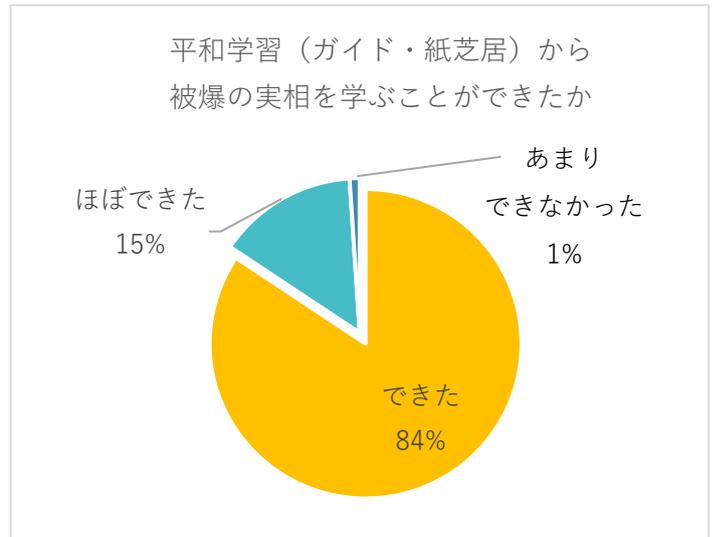
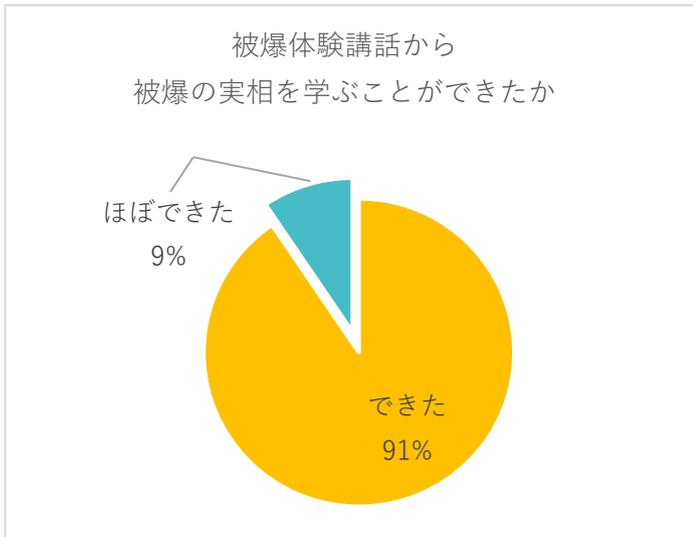
作曲：大島 ミチル



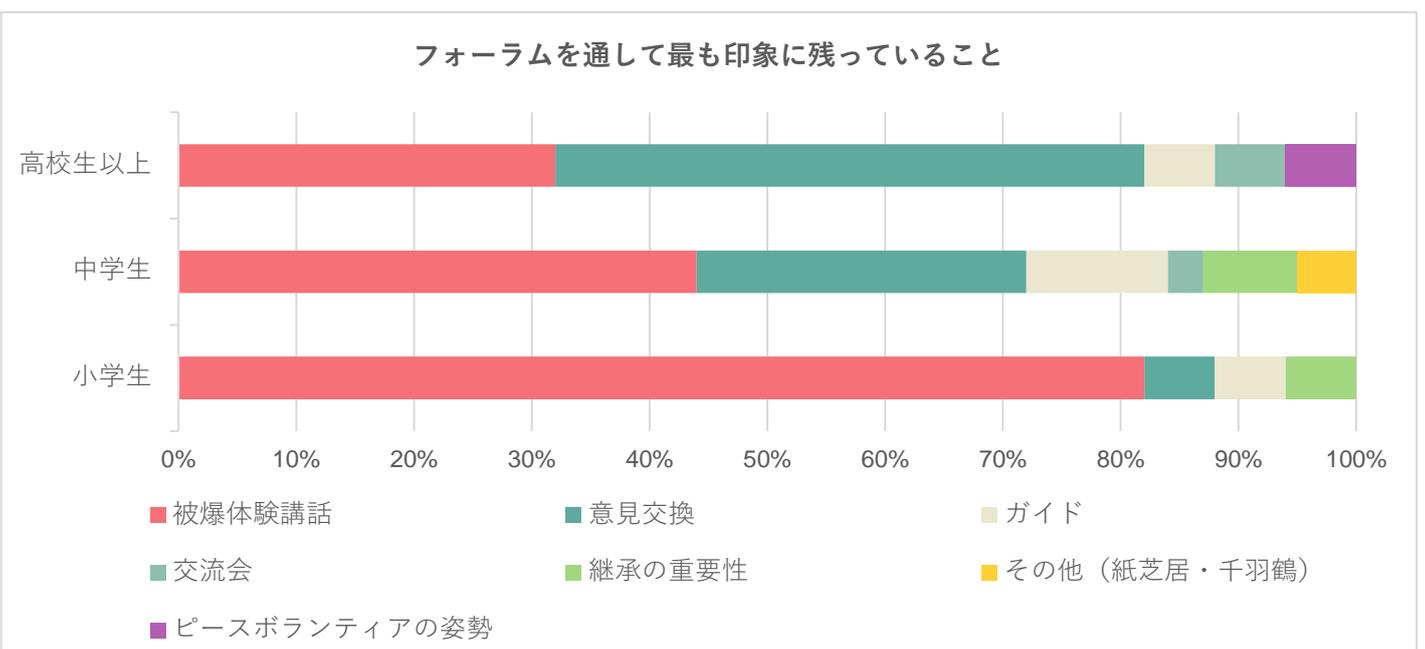
青少年ピースフォーラム閉会行事にて初公開!

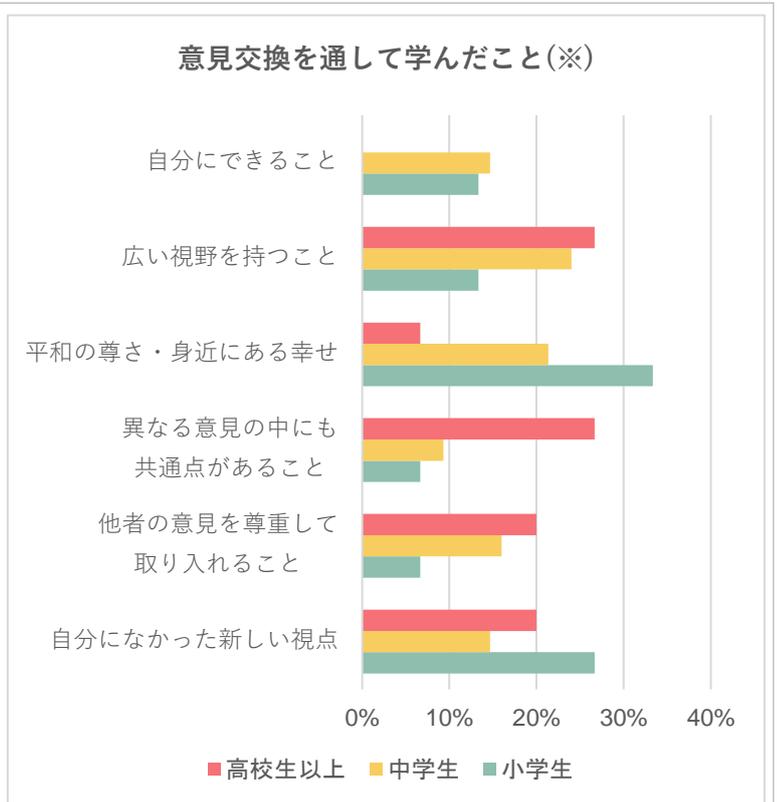
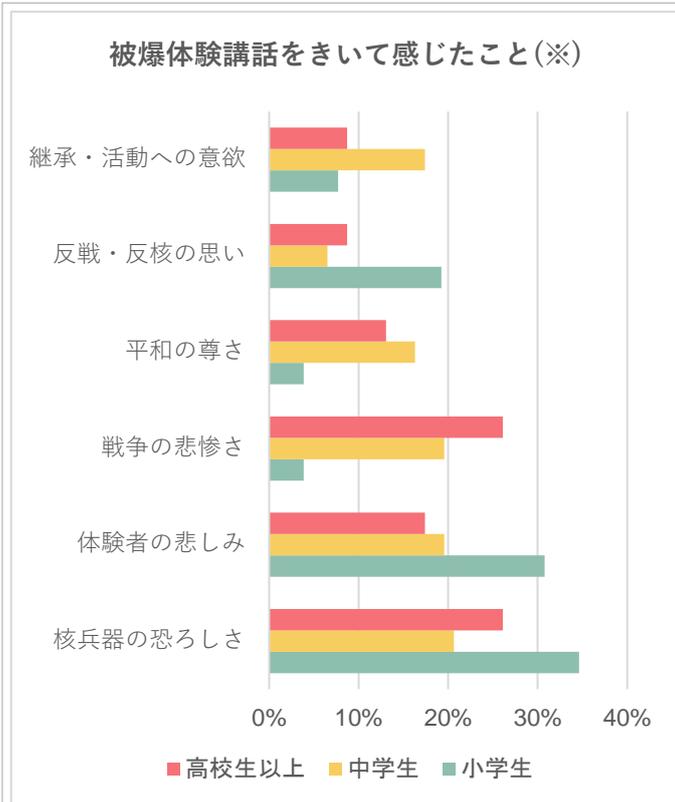
歌詞の文字は3名の被爆者の方に書いていただきました!

### 3 終了後アンケート結果



※回答者 102 名（聴講職員含まず）  
未回答項目はデータ集計に含まず





※感想文の内容をアフターコーディングにて分析

## アンケート結果について

- ・各プログラムにおいて、被爆の実相や平和の尊さを学ぶことができたという評価となった。
- ・最も印象に残ったものとして、小中学生は「被爆体験講話」を挙げた人が一番多かった。小学生では、被爆者の悲しみや核兵器の恐ろしさに関する感想を書いている人が多く、中学生では、継承・活動への意欲が高まったという感想も見られた。
- ・高校生以上では「意見交換」を挙げた人が一番多かった。意見交換を通し、他者の意見から新しい視点を得るだけでなく、一見異なる意見の中にも共通点があるということに気づけたという声が多くみられた。

## ご意見・ご感想（職員様方より）

### 【被爆体験講話に関して】

- ・オンラインであることで、講話者の表情がはっきりと分かり、感情や思いを強く感じる事ができた。
- ・Zoomのチャット機能で参加者がすぐに質問できたので良かった（質問時間がもう少し長いと尚良い）。

### 【意見交換に関して】

- ・ファシリテーターのスムーズな進行と発言を促すパスがとても印象的で、各班に配置されていたことで、話や表現が苦手な参加者も積極的に発言できていて、とても良かった。
- ・グループにより、終了時間や内容の密度に差があったため、追加の議題を用意するなど、改善してほしい。

### 【全体に関して】

- ・実際に行くことができず残念だったが、平和学習のオンラインガイドでは、限られた時間の中で、様々な場所を見ることができたなど、オンラインならではの利点も多くあると感じた。
- ・通信状況によって、映像や音声不安定になる場面もあったため、改善してほしい。

例年、青少年ピースフォーラムで行っていたフィールドワークの、各コースのダイジェスト動画およびフォーラム PR 動画を当協会 Youtube チャンネルにて公開しています。

長崎原爆に関する導入学習や振り返り、コース選定の参考として是非ご活用ください。



動画はこちらから!!



長崎平和推進協会

YouTube



Instagram



PEACE.WING0809



長崎市

長崎市の平和・原爆

Facebook



令和 3 年度  
青少年ピースフォーラム 報告書

発行 公益財団法人 長崎平和推進協会

所在地 〒852-8117

長崎市平野町 7 番 8 号

電話番号 095-844-9922

FAX 095-844-9961

E メール keishou@peace-wing-n.or.jp